



Mapl

地図とデジタルサービスの融合における可能性と事業化

黒田 毅

会社情報

Eyeteq. Co., Ltd. では、共同思考を促進し、職場でのイノベーションをさらに推進できるよう組織を支援しています。クローズド・ループを実行し、アジャイルフレームワークを活用することで、ビジネスが組織的に成長し、消費者優先の考え方を促進するのを支援します。

事業とサービス

概要

現在のデジタル化は、多様なIT環境が存在し、今日それらはIoTにおいてその統合を模索しています。しかしそれらは生活との融合が、地図と連動したサービスの構築を行うことでより生活と密着した、デジタルサービスと生活の融合の可能性を提案できると考えます。

イメージ

地図へ店舗や企業、個人が自己のブロックチェーンとWEB 3 を接続し、アプリケーションにおいてこれらサービスの利用を行うことは、次世代カーナビゲーションや、街を歩きながらGPS情報の共有における多様な、デジタル情報やサービスを掲示し、生活と融合した新たな規格と環境を提案できると考えます。

可能性

これらは現状の分散されたITサービスが、WEB 3 と地図において統一され、それらが生活と密着することで、大きな可能性を提案できると考えます。それら規格が標準化されることにおいて、そのサービスがインターネットに匹敵する可能性はあると考えます。

サービスとシステム

これらが次世代におけるカーナビゲーションシステムとして提案できることに限定せず、GPSにおける自己の位置情報が、それら地図データと連携し情報の表示を行うことなど、地図に限定しない、ポータルからの参加などとともに、そのサービスとシステムの構築を提案できると考えます。

サービスイメージ

ポータルウィンドウ

地図とデジタルデータ情報の表示と参加

デジタルサービスの統一

多様なデジタルサービスの統一を標準化された規格において提供する。

次世代カーナビゲーション

店舗などの情報を表示する次世代カーナビゲーション

自己情報の発信

インターネットと同じ情報の発信を新しい基準において提案する。



サービスの概要

Mapl

地図とWEB3における情報を統一し、ポータルウィンドウで表示、もしくは地図上に表示する。音声認識における利用環境とともに、生活と融合した新たなデジタルサービスを規格とともに提案する。

これらは、独自フレームワークをWEB3環境において整備し、インターネットと共有し、そのサービスを提案する。

店舗や企業が、イベント情報、ディスカウント情報やサービスを提供することなど生活と密着した、新たなサービスの構築を提案する。

これらは地図と情報の表示を一つのウィンドウ、もしくは2つにおいて表示することなど、サービスの機能性と利便性を提案できると考えます。

ポータルウィンドウにおけるWEB3の表示は、位置データと地図データを連動し、それら情報の表示を行う。これらは、ホームページを位置データとリンクさせ、自己位置データにおける表示を行うものである。

これらは、マップコードとWEBアドレスを連動し、地図と位置データにおける計算とともに、ポータルウィンドウに表示することで、新しいデジタルサービス、次世代カーナビゲーションなどが実現できると考えます。

サービスの利点

独自性と斬新さは、先端システムとともに、生活への新しい可能性を提案できると考えます。

市場の概要

可能性と拡大

デジタル社会における基幹インフラとしての提案は、次世代における新たな規格としての事業化を提案できると考えます。それらが生活における大きな需要を求め、サービスの拡大を行うことはできると考えます。それらはどのように市場へアクセスするかなどにおいて、その可能性が変化するものと考えます。

市場は新しい要求においてその拡大を期待でき、事業化はその収益環境の構築とともにその可能性を行うことは可能であると考えます。

予測と計画



生活における新しい必要

性
デジタル社会における新規インフラ
としてのサービス



生活とデジタルサービスの

融合
新しい可能性の提案



競合企業はほとんどない

新規規格の提案



競合関係

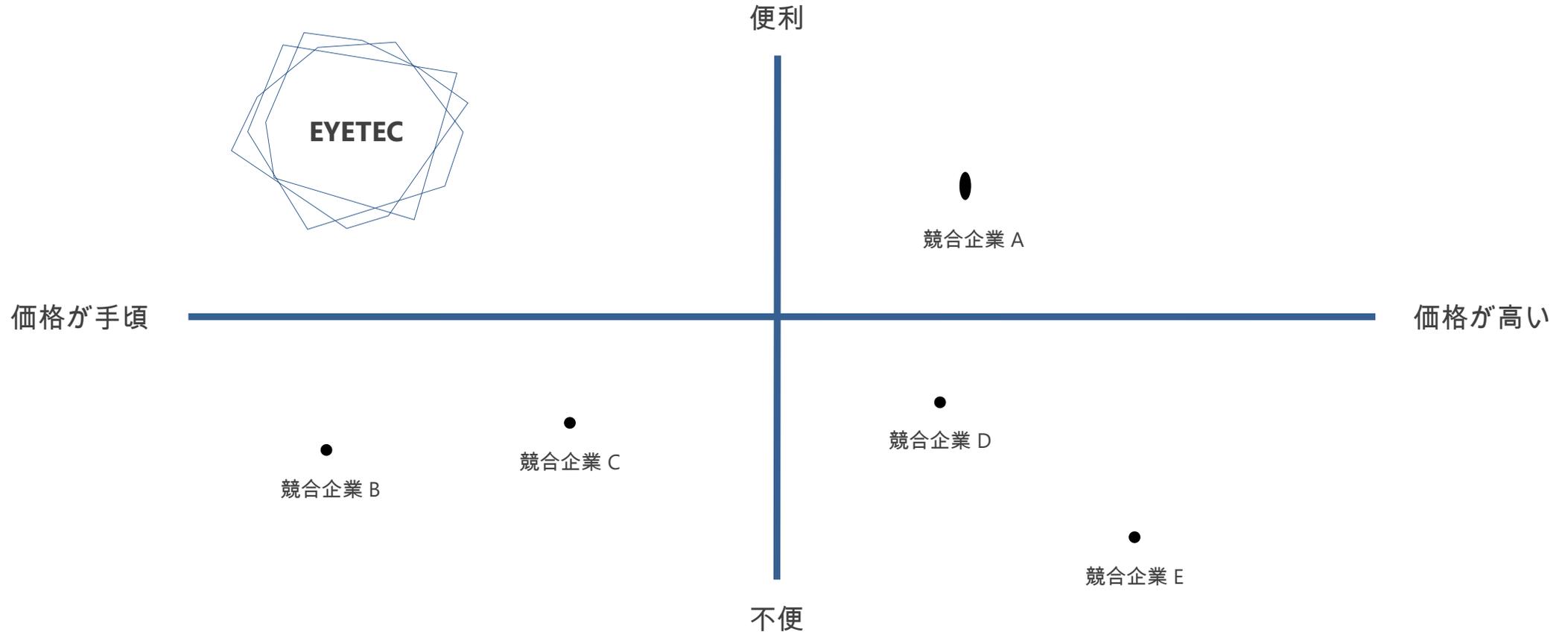
EYETEC

アイディアの独自性は、その技術システムとともに、次世代におけるITの基幹インフラとしての可能性を提案できると考えます。

競合企業

既存サービスに対して、自社サービスの独自性はその可能性と優位性を提案できると考えます。

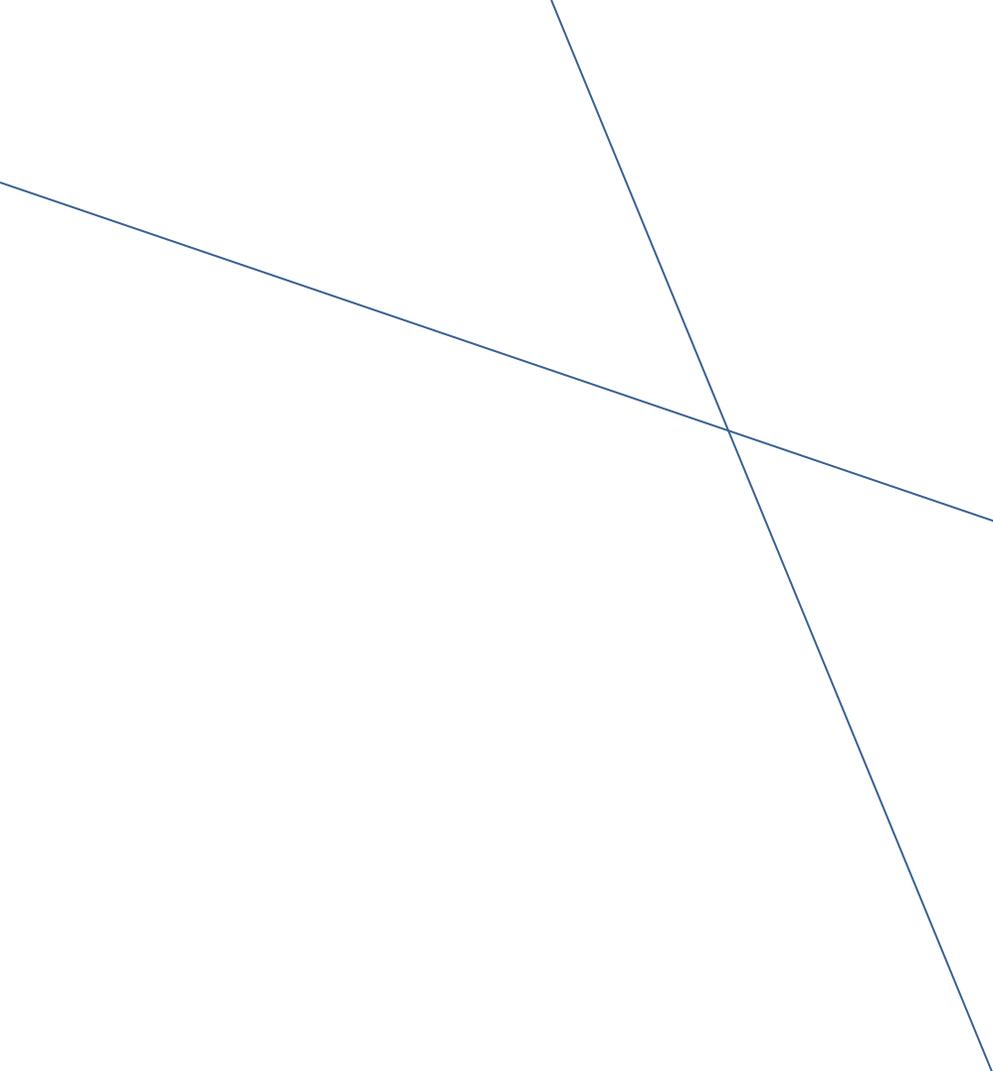
弊社の競合関係



チームに会う



Takeshi Kuroda



サマリー

EYETEC 社では、新しいアーキテクチャーとともに、その生活におけるデジタルサービスとの新しい可能性を提案するものです。それら可能性が事業における現実として提案できる強みであり、先端システムにおける提案を実現できると考えます。



ありがとうございました

Takeshi Kuroda
090 (3760) 1882
takeshi_kuroda@eyetec.co.jp
eyetec.co.jp/